

令和2年度 第4回将監ふれあい公園再整備・利活用検討委員会

日時 令和3年1月26日(火) 14:00～

場所 将監中央コミュニティセンター

次 第

1. 開会
2. 挨拶 (将監ふれあい公園再整備・利活用検討委員会 阿部委員長)
3. 議題
 - (1) 第3回検討委員会の振り返り
 - (2) 地域による公園管理運営の先進事例について
(講師：建設局公園課公園マネジメント推進係 中川係長)
 - (3) 将監ふれあい公園再整備基本計画について
 - (4) 地域意見の募集について
 - (5) 基本計画策定スケジュールについて
 - (6) その他
4. 閉会

- 資料1 …第3回将監ふれあい公園再整備・利活用検討委員会議事録
- 資料2 …地域による公園管理運営の先進事例について
- 資料3-1 …将監ふれあい公園再整備基本計画検討資料
- 資料3-2 …将監児童センターの園庭について
- 資料4 …地域意見の募集について
- 資料5 …将監ふれあい公園基本計画策定スケジュール

将監ふれあい公園再整備基本計画検討資料 (第4回将監ふれあい公園再整備・利活用検討委員会資料)

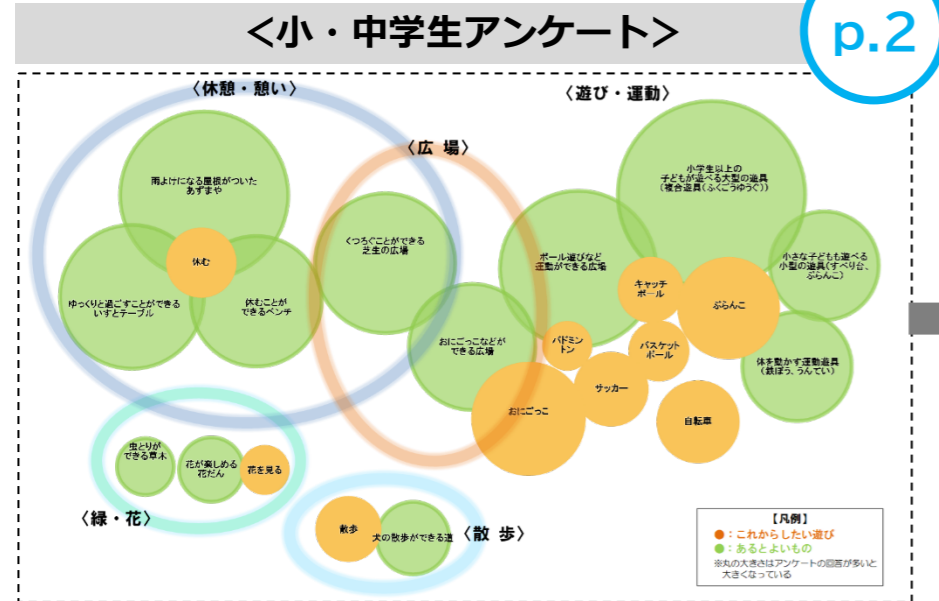
目次

1. 将監ふれあい公園再整備計画の策定に向けた検討の流れ.....	1
2. アンケート結果のまとめ.....	2
3. 子どもワークショップ結果の整理.....	3
4. 検討委員会グループ討議結果のまとめ.....	5
5. 前提条件整理 ー (1)上位・関連計画の整理.....	6
(2)周辺都市公園の機能と公園の位置づけ.....	7
(3)複合センターの整備計画.....	8
6. 現況公園の敷地分析 ー (1)現況のゾーニング.....	10
(2)利用実態調査の結果まとめ.....	11
(3)現況公園で実施されているイベントや活動等の整理.....	13
7. 将監ふれあい公園再整備の基本的な考え方.....	14

令和3年 1月 26日 (火)

1. 将監ふれあい公園再整備計画の策定に向けた検討の流れ

● 導入機能のベースとしてアンケートを整理



● 子どもワークショップの意見から、アンケート結果を具体化する意見を反映
 ● 検討委員会グループ討議から、整備の留意点整理等に資する主な意見を追加
 ● 前提条件整理や敷地分析から現況課題や不足する機能を整理

● 基本計画の内容を検討

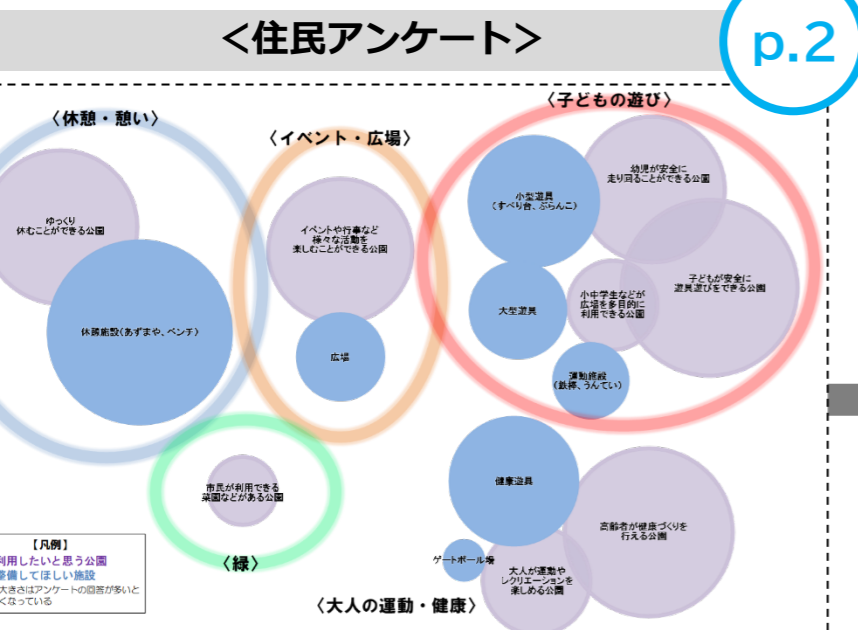


<今回の議題>
 将監ふれあい公園再整備の基本的な考え方

- 公園再整備の目標像 (再整備コンセプト)
- 再整備基本方針
- 導入機能 (ゾーニングについては議論のためのたたき台を提示)

- <次回以降>**
- ゾーニング
 - 施設規模、配置
 - 施設、植栽・設備等の整備計画
 - 複合センターや将監沼等との連携
 - イメージパース
 - 管理運営計画

アンケート結果を具体化するような主な意見を反映



主要意見の補足 (整備の留意事項など) p.5
<検討委員会グループ討議>



現況課題や不足する機能の把握

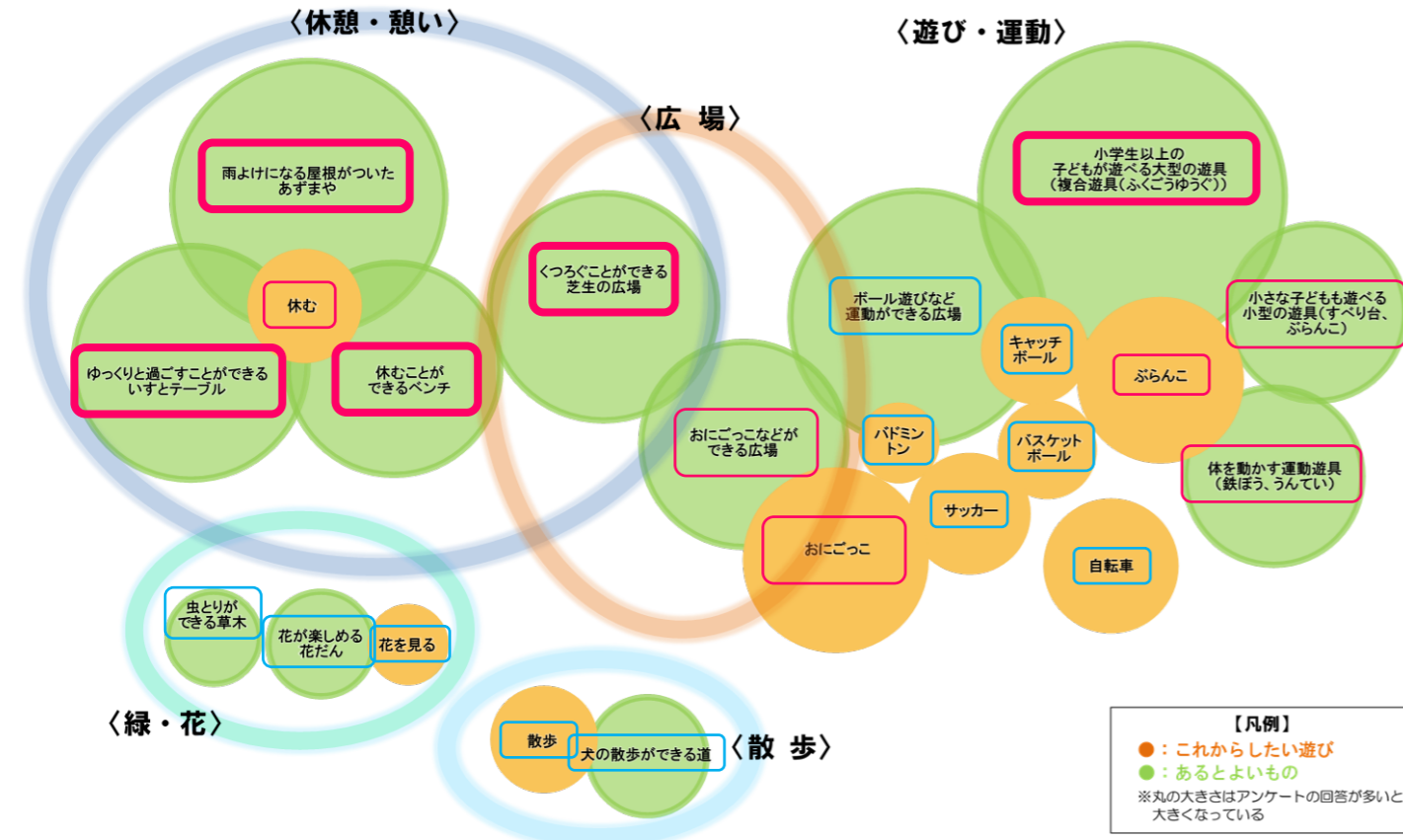
<現況公園の利用実態調査、敷地分析> p.10-13



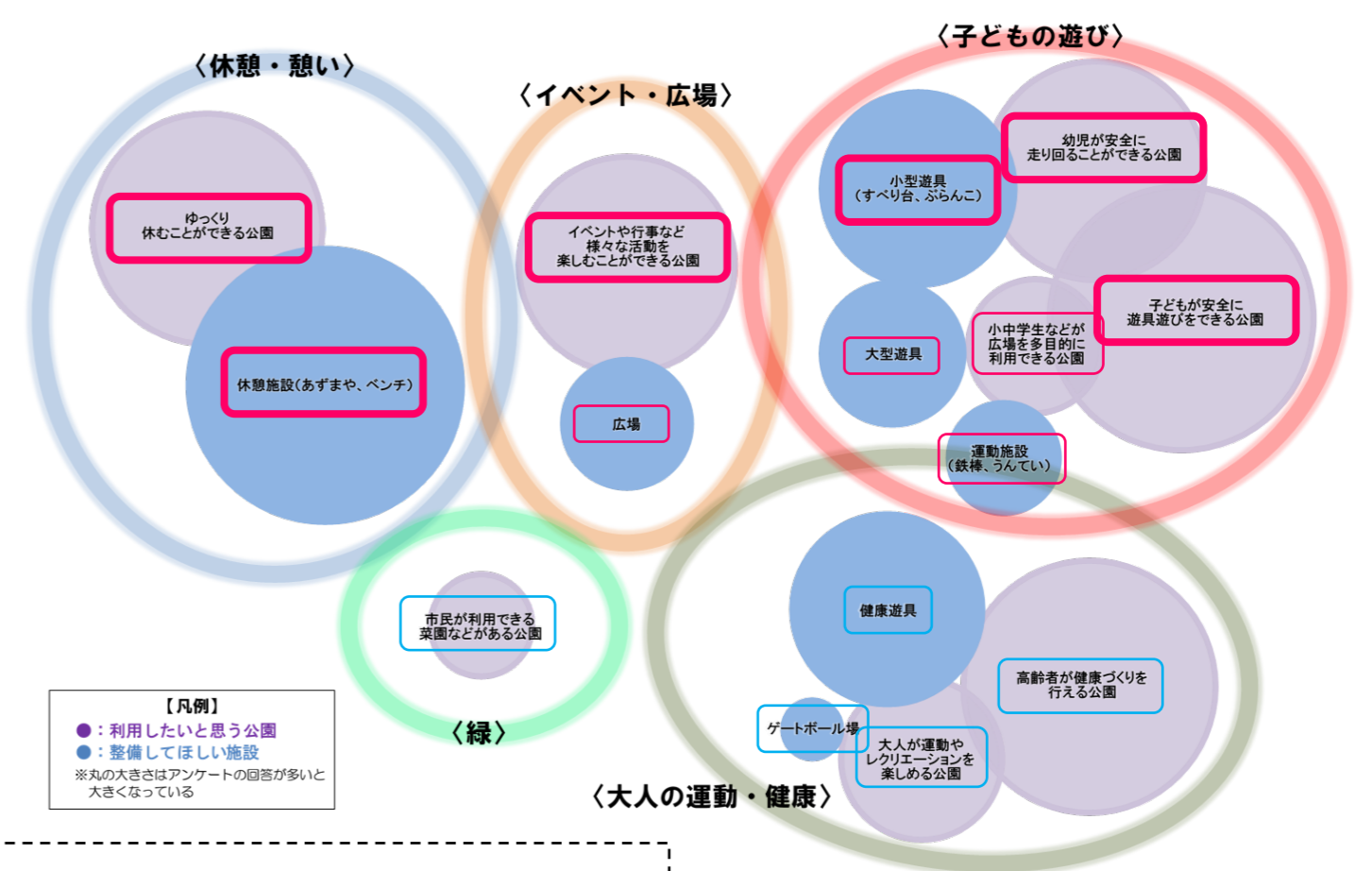
<上位・関連計画の整理、周辺都市公園の機能調査、複合センターの整備計画> p.6-9

2. アンケート結果のまとめ

＜小・中学生アンケート＞ N=504
 (将監・将監中央・将監西小の5・6年生と将監・将監東中の2年生)



住民アンケート N=141



【凡例】 両方のアンケートに共通して求められる公園の機能・施設
 いずれか片方のアンケートで求められている公園の機能・施設
 (線の太さは回答の多いものを示しています)

アンケートの結果から得られる「将監ふれあい公園にほしい施設・やりたいこと」は、以下のように整理されます。

両方のアンケートに共通して求められる施設・やりたいこと	いずれか片方のアンケートで求められる施設・やりたいこと
<ul style="list-style-type: none"> ● 休憩・憩いの空間や施設（あずまや、テーブル、ベンチなど） ● くつろぐ、遊ぶだけでなくイベント時にも活用できる多目的な広場やステージ ● 幼児用の遊具や遊び場（幼児用すべり台・ブランコなど） ● 児童用の遊具や遊び場（特に小・中学生は大型の複合遊具のニーズが高い） ● 体を動かす運動遊具（鉄棒、うんていなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 虫取りができる草木、花をみられる花壇、菜園 ● 散歩や犬の散歩ができる散策路 ● ボール遊び（サッカー、キャッチボール、バスケットボール、バドミントンなど） ※ボール遊びのニーズは小・中学生のみであるが、回答人数は多い ● 大人の健康づくり（健康遊具、運動・レクリエーション、ゲートボール場など） ※健康づくりのニーズは住民のみであるが、回答人数は多い

3. 子どもワークショップ結果の整理

【子どもワークショップの実施概要】

<第1回 ワークショップ>

日時：8月30日(日) 14時～16時
 開催場所：将監市民センター
 参加人数：小中学生 28名
 (小学生 23名、中学生 5名)
 内容：現地調査(公園の広さ、複合センターの位置確認など)
 : グループワーク「どんな公園だといか」

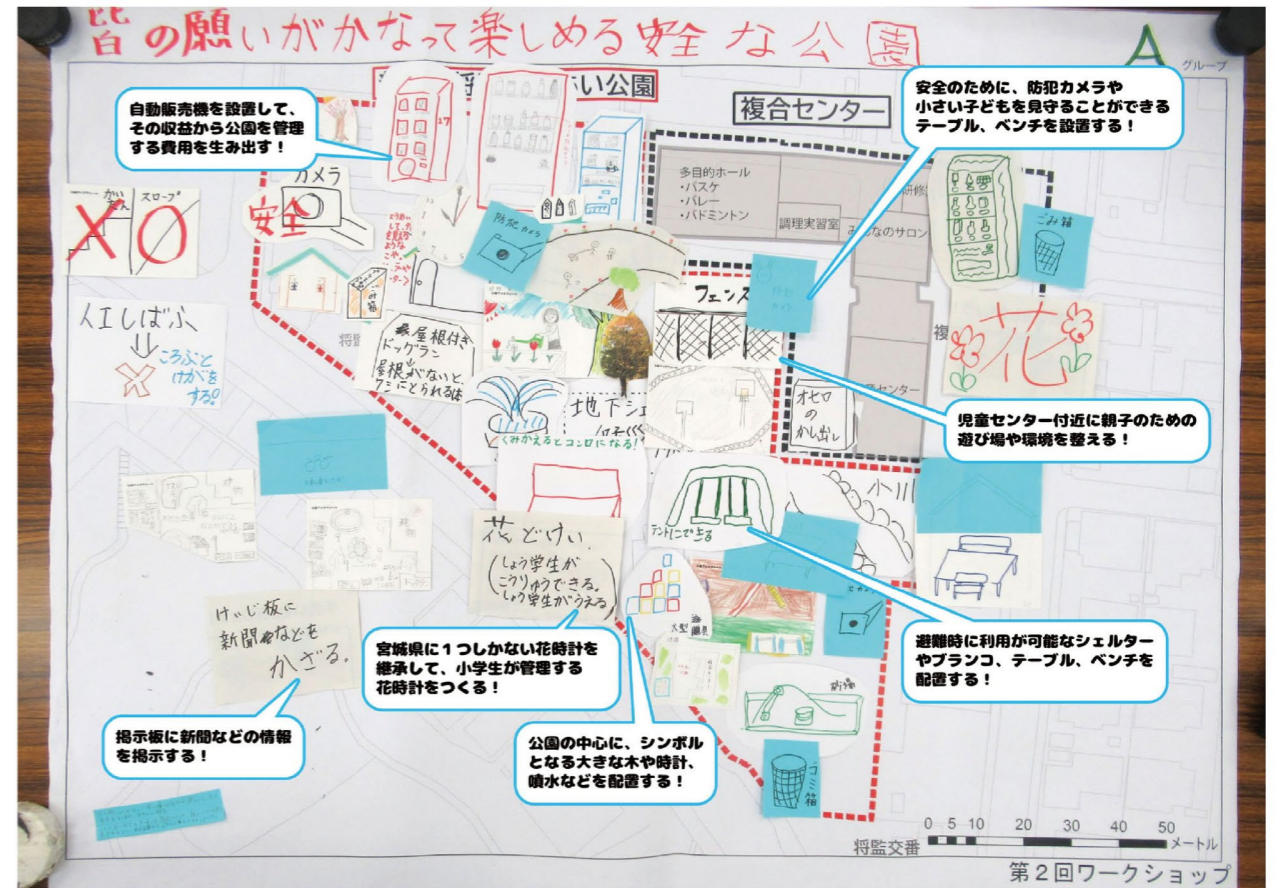
<第2回 ワークショップ>

日時：9月13日(日) 14時～16時
 開催場所：将監市民センター
 参加人数：小中学生 25名
 (小学生 22名、中学生 3名)
 内容：グループワーク
 「あったらいいモノ、やれたらいいコト」

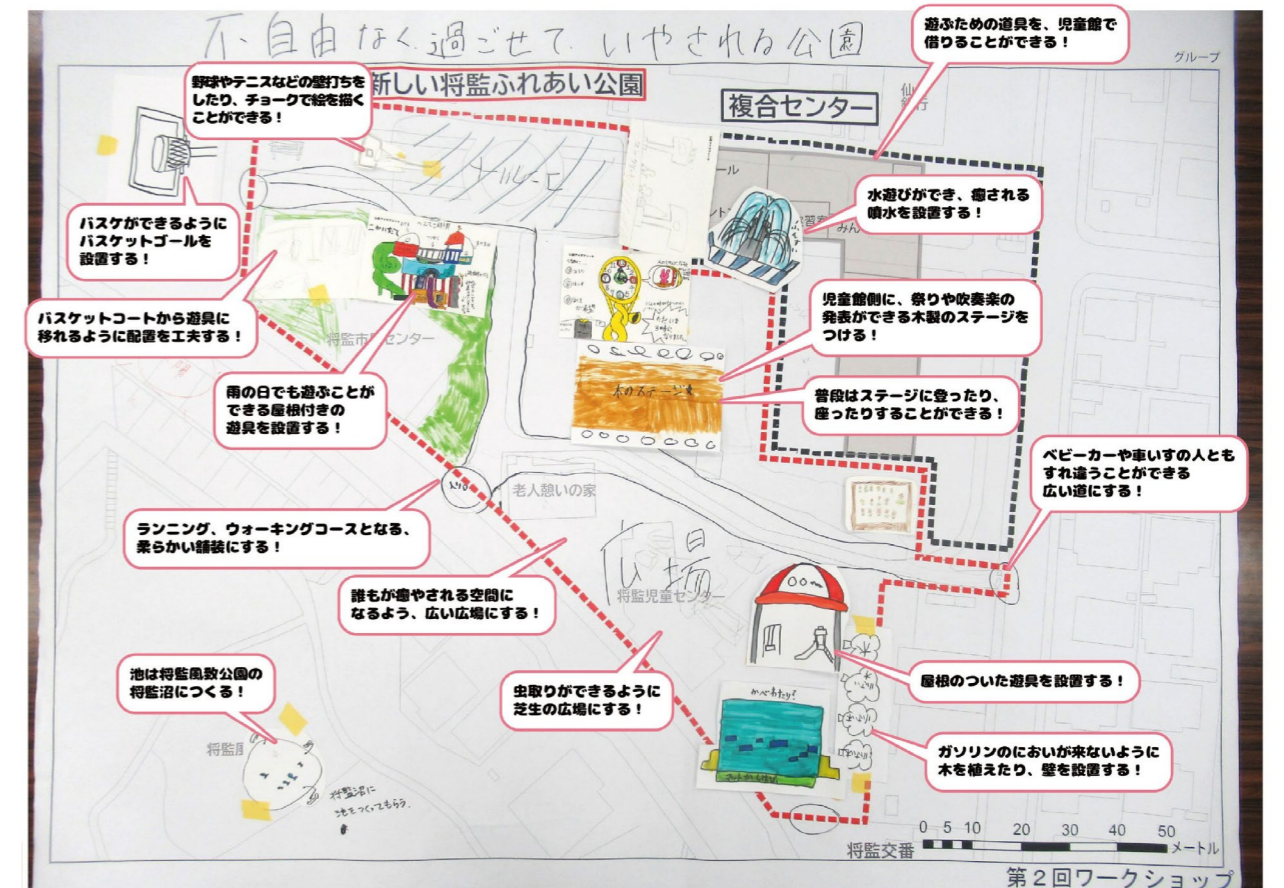
【子どもワークショップの成果まとめ】

グループ	タイトル	主な内容
Aグループ	皆の願いがかなって楽しめる安全な公園	<ul style="list-style-type: none"> 安全のために、防犯カメラや親が小さい子供を見守れるベンチ、などを設置 中心になるところに、シンボル(大きな木、花時計、噴水など)を配置 自動販売機を設置して、その収益から公園を管理する費用を生み出す
Bグループ	不自由なく過ごせていやされる公園	<ul style="list-style-type: none"> 建物の中に遊具を入れ、雨の日とかでも遊べるような所とする 広場には、児童館側に木製のステージを設置 園路はランニング、ウォーキングコースとしても活用
Cグループ	いろんな人が来る、メチャクチャ楽しい公園!	<ul style="list-style-type: none"> 公園沿いには花壇やランニングコースを配置 公園の真ん中に規模の大きい休憩場所を設置 西側(スポーツ・運動スペース)と東側(大型遊具スペース)のエリアとする
Dグループ	環境にやさしく、色々な世代が心地よく楽しめる公園	<ul style="list-style-type: none"> 四阿のベンチは防災用品や食料を入れて保管 交番に近く、安心して遊ぶことができる場所を遊びのスペースとする 学校などの団体が植え付けなどの管理を行う花壇を設置
Eグループ	色々なゾーンに分かれていて、自然がたくさんある公園	<ul style="list-style-type: none"> 公園の周りには木がいっぱいあり、植物ゾーンは色々な種類の草花を観察できるようにする 動物ゾーンは、動物の形の大きい遊具を作り、洞窟ゾーンや小さなスベリ台、迷路アスレチックを設置 中学生も部活や運動が出来るように、部活ゾーンとする

A
グループ
安全な公園
皆の願いがかなって

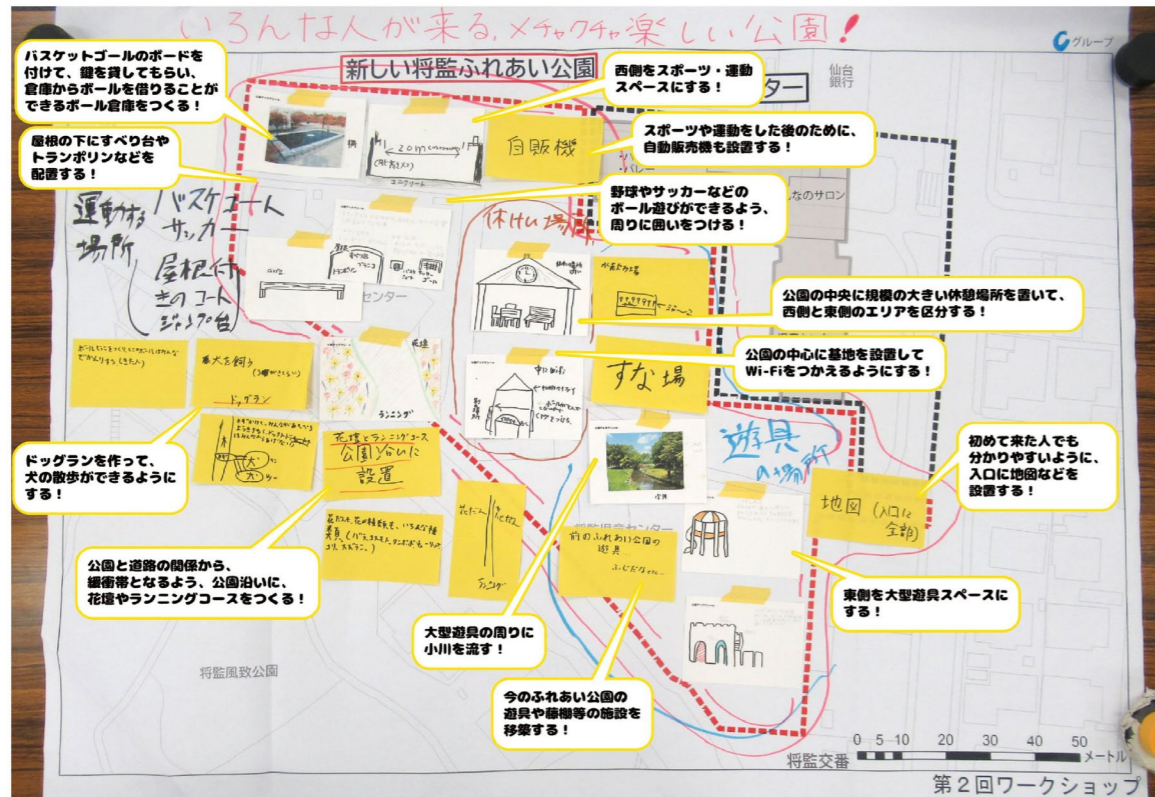


B
グループ
不自由なく過ごせて
いやされる公園



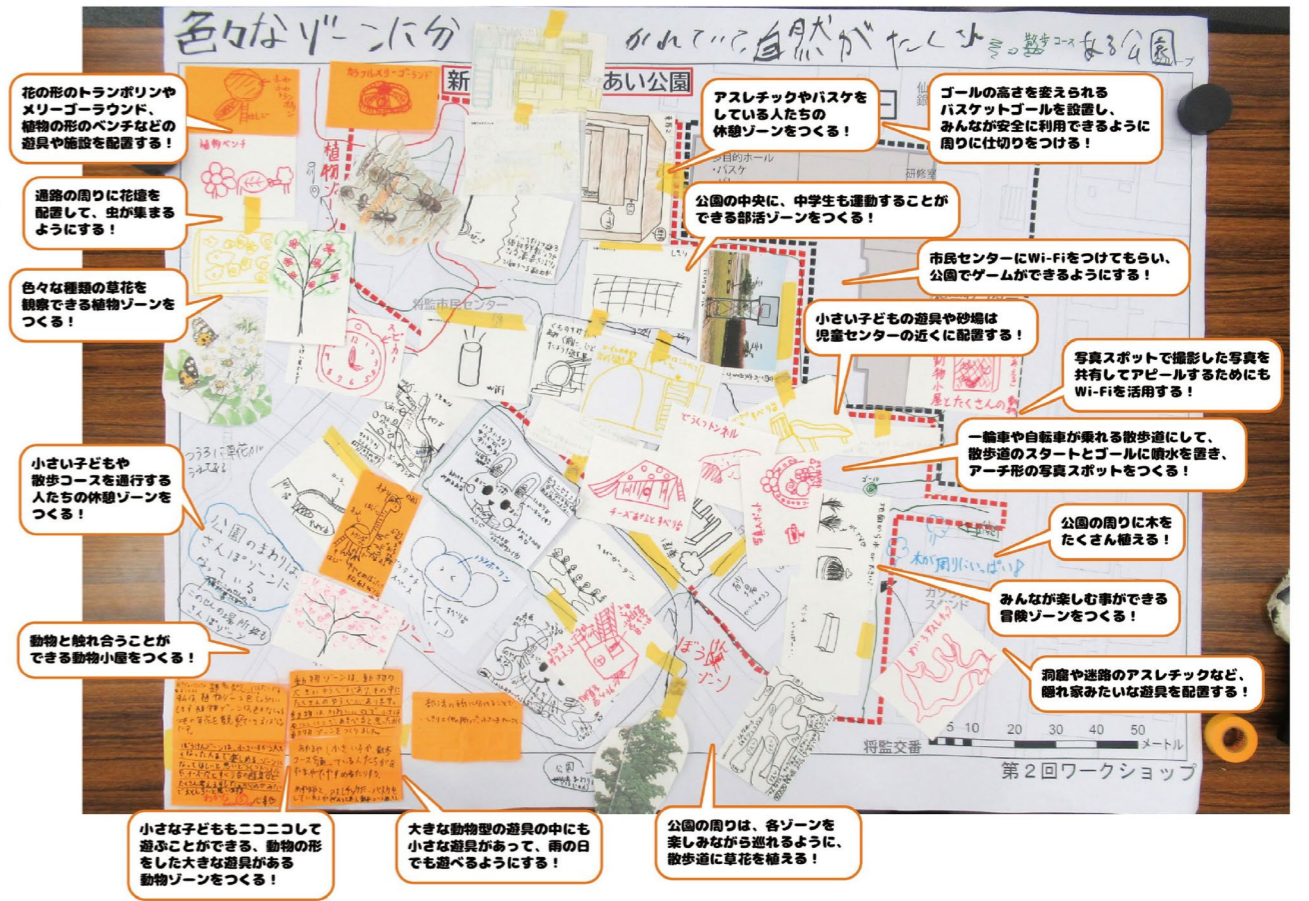
Cグループ

いろいろな人が来る、メチャクチャ楽しい公園！



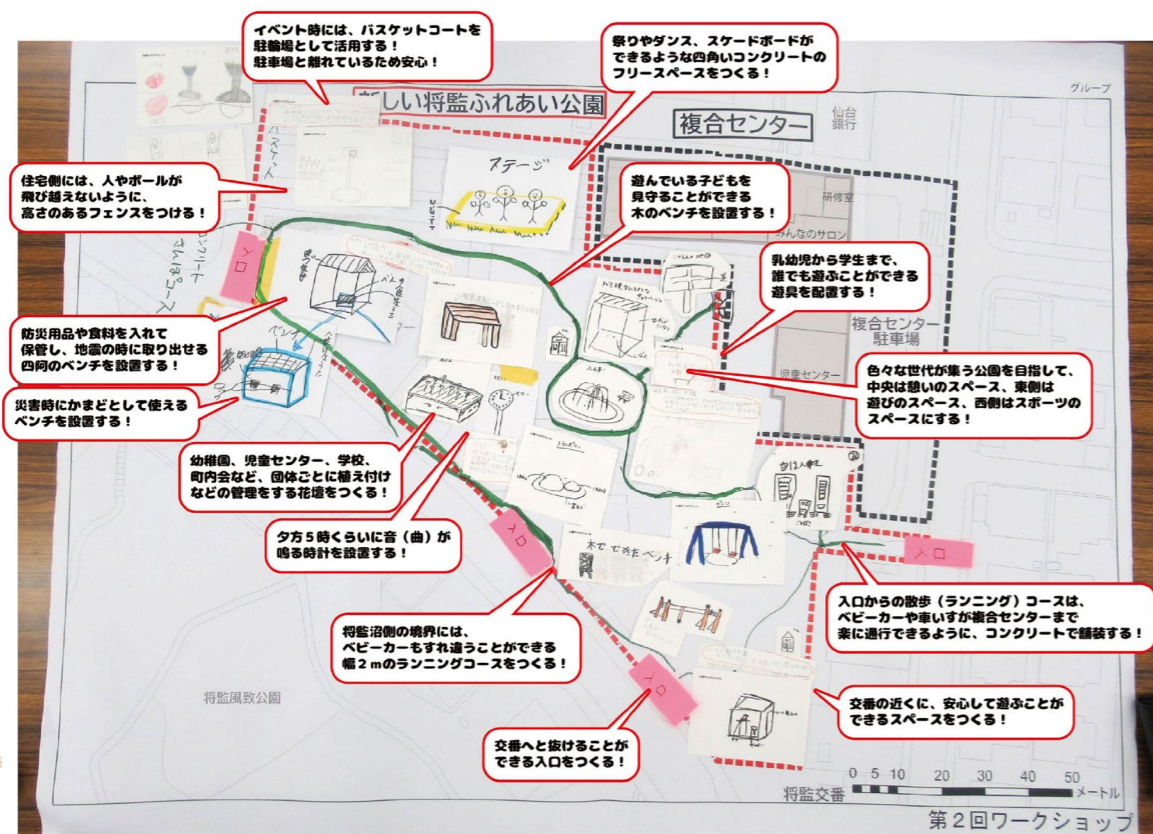
Eグループ

色々なゾーンに分かれていて、自然がたくさんある公園



Dグループ

心地よく、色々な世代が楽しめる公園



ワークショップの結果は「アンケートの回答を具体化するようなアイデア」と「アンケートでは出てこなかった新たなアイデア」に分けて整理できます。（カッコ内はアイデアを出したグループ A～E を示します）

アンケートの回答を具体化する主なアイデア	アンケートには無かった新たなアイデア
<p>【遊具や公園内の施設に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 幼児の遊び場は児童センター付近に配置、防犯カメラを設置 (A・E) ● テーマ性のある遊具（動物のかたち、どうくつゾーン、迷路アスレチックなど）(E) ● バスケットコート、サッカーなどのボール遊び (A・B・C・D・E) ● 遊具や休憩施設を防災対応にする (A・D) <p>【空間構成やレイアウトに関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 広場の児童館側に木製ステージを設置 (B) ● 中央に休憩施設を配置してエリアを区分し、西はスポーツ・運動、東は遊具スペース (C) ● 幼児の遊び場は交番付近 (D) ● 小さい子どもの遊び場は児童センター近く (E) <p>【園路や園路沿いの植栽に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ランニング・ウォーキングできる園路 (B・C) ● 公園の周りに木をたくさん植える、散歩道沿いに草花を植える (E) 	<p>【遊具や公園内の施設に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● シンボルとなるもの（大木・花時計・音楽が流れる時計・噴水等）(A・B・D) ● 動物の形の遊具や、隠れ家みたいな遊具など (E) <p>【空間構成やレイアウトに関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小川を流す (C) ● ドッグラン (C) ● ダンスやスケボーができるスペース (D) ● 中学生の部活ゾーン (E) <p>【公園の管理や運営に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自動販売機を設置してその収益を公園管理に活用する (A) ● Wi-fi を使えるようにする (C) ● 学校などの団体が管理する花壇 (D)

※上記の表は類似する意見を集約するなどして整理しているため、すべての意見が網羅されているわけではありません。

4. 検討委員会グループ討議結果のまとめ

グループ	①整備目標	②整備目標 実現のための方針	③公園に求められるもの (オレンジ=アンケートやワークショップで出てこなかった意見、水色文字=既出の意見)	④整備における その他配慮事項
A	みんなが集い本当に ふれあえる(コミュニ ケーション)ふれ あい公園	<ul style="list-style-type: none"> 1人でものんびりでき る雰囲気のある公園 地域全体が公園と一体 となった暮らし 年齢が関係のない憩い の場となる公園 本格的なスポーツまで いかない公園 	<ul style="list-style-type: none"> 遊歩道のところにベンチをいっぱい置く。 公園の中心となる花時計とか花畑がほしい(公園のシンボル) チャイム又は音楽のある時計塔 ベンチやテーブルなど休み場を残したい 健康器具、あずま屋、日本庭園 雨よけあずまや(ベンチ、テーブル)を残したい イベント広場 ・ステージ 広場、キャッチボール、おにごっこ ・公園の周部の樹木を残したい 公園のまわり(桜、どんぐり、木の実) ・みんなで植え替えが楽しめるもの ランニングゾーン(マラソン、散歩、自転車、おにごっこ、キックボード、一輪車) お花見 ・電源コンセント ・大きなスベリ台 トイレ(複合センターでも使える) 将監地区全体の夏まつりができるスペース 大人も子供も一緒に遊べる大型遊具 ・オリジナル遊具会社、モニュメント 	<ul style="list-style-type: none"> 照明は明るく バリアフリー(段差をなく す、階段もなく) 沼とつながる公園にして (横断する場所をしっかりと つくる) 安全な柵とか樹木で通路へ の安全性確保 炊き出しとかも出来るとい い(防災井戸も設置)
B	人にも自然にもふれ あえるやすらぎ公園 ~周辺と一体となっ て~	<ul style="list-style-type: none"> 快適で誰でもくつろ ぎ、ふれあえる公園 やすらぎ くつろぎ 気兼ねなし 	<ul style="list-style-type: none"> 四季の祭り ・盆踊り ・屋外ステージ クリスマスマーケット ・軽トラ市 ・朝市 自販機 ・テラス ・大型時計 シンボルとなる施設(時計台とか) ・東屋2~3ヶ所 皆が休憩できる3ヶ所東屋 ・花だん ・畑 子供達による花壇の手入れ ・樹木、シンボルツリー シンボルツリー(もみの樹)+クリスマスイルミネーション 老人憩いの家と日本庭園 ・藤棚 ・桜 いつでも座れるベンチ ・小路 ベンチは多めにほしい ・起伏のある土地活用 ゆっくりくつろげる公園→芝生公園 ・芝生(子どもが走り回れる) 広場1(幼児~小) ・広場2(小中~大人) ・運動する広場3 防犯カメラ ・フェンス柵(安全) ・桜並木をつくる ピオトープ(水辺) ・水遊びができる場所 ・一輪車のできる道 案内版 ・街灯 ・ぶらんこ、砂場 子供の遊び場 ・ベビーカーを押して歩ける 	<ul style="list-style-type: none"> 安全安心 複合センターとの一体化 交流 ふれあう、ふれあい 年齢に合わせて 将監沼とコラボ 自然と関わる 周辺の緑地施設との連携
C	自然とともに未来に つながる公園	<ul style="list-style-type: none"> 自然とともに未来につ ながる公園! 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化に対応、Wi-Fi等 ・あずまや3棟、ゆったり、のんびり ソーラーパネルを屋根に設置 ・芝生のスペースを増やしてほしい 植樹。記念、思い出になるような ・子供達の思い出に残る植樹をする(桜とか) 藤棚(子供の意見)をそのまま残す ・桜の名所にする メモリアルツリー、桜とか ・公園の中心に芝生を大きく(広く)してほしい ふじ(藤花)「ま」よけの木 ・桜並木、児童センターから市民センターまで ドックラン ・コンクリートフリースペース ・春は桜 水飲み ・トイレ・手洗場 ・水道≒飲む≒手洗場 自転車、一輪車 ・防災のため放送できる設備 防災ベンチ ・バーベキュー、芋煮 ・食べる行事 記念の時計、「音が鳴る」、「防災用のマイク、スピーカー」 公園のシンボル、時計塔 ・防災の訓練時に、芋煮会に、使用できる場所 	<ul style="list-style-type: none"> ゆったりくつろげる 自然を大切に 照明灯 エリア分け、 バリアフリー(段差なし)

- 「公園に求められるもの」は概ねアンケートやワークショップで出てきた意見と同じや類似する意見でした。そのため大まかな傾向としては検討委員会の意見もアンケートやワークショップと同じであることが確認できました。
- 個別具体の広場の活用方法(夏祭りや軽トラ市、朝市、芋煮など)について提案や、アンケートやワークショップであまりみられなかった桜や花見に関するご意見もありました。
- 「整備におけるその他配慮事項」として出されたご意見を整理すると以下のようにまとめられます。

- バリアフリーの公園づくり
- 夜間も明るく安全安心
- 災害時に役立つ、防災
- 将監沼との一体性
- 複合センターとの一体性

5. 前提条件整理 — (1)上位・関連計画の整理

仙台市基本計画（答申素案） 計画期間：2021～2030

基本計画（中間案）では、重点的に取り組む「チャレンジプロジェクト」において、以下の通り公園に関して記載しています。

「杜と水の都プロジェクト」

- ▶ 利用者のニーズを踏まえた様々なアイデアを取り入れながら、周辺環境と調和した魅力ある公園をつくる

「防災環境都市プロジェクト」

- ▶ 保水・浸透機能や火災の延焼防止等防災機能の向上

「都心創生プロジェクト」

- ▶ 既存ストックの新たな利活用を通じたまちのリノベーションの推進によるエリア価値の向上

杜の恵みと共に暮らすまちへ

- ▶ 防災やヒートアイランド現象の緩和等の様々な効果を持つ質の高い緑化の促進と適正な維持管理

安心・安全

- ▶ 防犯対策を講じる等、犯罪が起りにくい環境づくりを進める

仙台市都市計画マスタープラン(中間案) 計画期間：2021～2030

都市計画マスタープランでは基本方針、緑・景観、防犯、協働まちづくりにおいて以下の通り記載しています。

基本方針

- ▶ 整備と利活用を進め、緑の多機能性を生かした都市空間の形成と活用
- ▶ 緑地の保全や緑化推進、公園や親水空間の整備・活用等を行い、緑と潤いのある都市空間の形成と活用を図る

緑・景観、防犯、協働まちづくり

- ▶ 土地区画整理事業や市街地再開発事業、開発行為等により一定規模の区域を総合的に面整備する際は、総合的な緑化を推進
- ▶ 複数の公園での機能分担や公共施設等との連携利用の観点などから計画的な公園再整備・リニューアルを図る
- ▶ 経営的な視点に立った公園運営管理の仕組みを作り、官民連携事業等の取り組みを通じて公園利活用を促進
- ▶ 子どもたちが様々な遊びに触れることができる都市公園等の既存施設を活用した環境づくり
- ▶ 街区公園や近隣公園など身近な都市公園を整備、公園空白地の解消
- ▶ 死角を排除するような施設の配置や見通しの効く適正な植栽の管理
- ▶ 管理者と地域や企業などが効果的に連携できるような取り組みを推進

仙台市みどりの基本計画(中間案修正版) 計画期間：2021～2030

次期仙台市みどりの基本計画（中間案修正版）では、基本方針4「みどりとともに人が育つまち」に基づく事業のひとつとして将監ふれあい公園の再整備事業が位置付けられています。（令和3年1月18日 第6回検討部会資料より）

「5つの基本方針」と将監ふれあい公園との関係

1. みどりと共生するまち
2. みどりで選ばれるまち
3. みどりを誇りとするまちづくり
4. みどりとともに人が育つまち
5. みどりを大切にするまち

「基本方針4. みどりとともに人が育つまち」に基づく施策体系

- 施策の柱⑨：暮らしの質を高める身近なみどりを充実させる
 - 施策⑨-1) 地域の特色を踏まえた公園緑地等の整備
- 地域の公園等ニーズを把握・分析し、必要に応じ公園等の機能再編を図るとともに、既存公園緑地のリニューアルを図ります

施策⑨-1に基づく事業・取組み一覧

- ・公園利用実態調査 ・都市公園の機能再編事業（再掲）
- ・公園空白地の解消（再掲）
- ・【見直し継続】身近な公園整備・再整備事業
- ・高砂中央公園整備事業 ・八木山動物公園再整備事業
- ・西公園再整備事業（再掲） ・榴岡公園改修事業
- ・【新規】蒲生北部2号公園整備事業 ・評定河原公園再整備事業
- ・上杉公園再整備事業 ・**将監ふれあい公園再整備事業**
- ・鶴ヶ谷中央公園再整備事業 ・七北田公園改修事業
- ・仙台スタジアム改修事業 ・【新規】水と親しむ公園づくり
- ・【新規】交通公園等機能特化型公園整備事業
- ・土地区画整理地区の公園整備事業

また、「計画を推進する上での配慮事項」のうち「都市公園に関すること」として、以下のことが記載されています。

「公園マネジメント」の推進

- ・地域の顔となるような特色を生かした公園づくりを行う
 - （小規模な公園では複数の公園で機能を分担するなどして、それぞれに特色のある公園づくりを行うなど）
- ・多様な主体との連携を図り、**地域ごとの柔軟な公園運営管理を行う**

仙台市公園マネジメント方針及び事業展開プラン 計画期間：2018-2020

公園マネジメント方針 第3章基本方針では4つの基本方針を以下の通り設定しています。

- 1 都市の賑わい創出～仙台ブランドを発信する賑わいのある公園づくり～
 - ▶ 施設の利活用による魅力アップ
 - ▶ 民間施設誘致による利用サービス向上
 - ▶ 民間パートナーと連携した新たな運営管理
- 2 地域コミュニティの醸成～地域の交流を育むみんなの公園づくり～
 - ▶ 地域の特色のある公園づくり
 - ▶ 多様な利用ができる地域の拠点づくり
 - ▶ 地域に根ざした柔軟な運営管理
- 3 自然との共生～まちと自然をつなげる身近な杜づくり～
 - ▶ 緑地保全から緑地利活用へ
 - ▶ 市民参加型の緑地運営管理の推進
- 4 施設マネジメントの推進～誰もが安全に安心して利用できる公園づくり～
 - ▶ 施設マネジメント計画による効率的な維持管理
 - ▶ みんなが関わる公園づくり

公園マネジメント方針に基づく「事業展開プラン」では、上記の4つの基本方針のうち「2 地域コミュニティの醸成」に基づく事業として「将監ふれあい公園リニューアル事業」が以下のように位置付けられています。

施策

- ▶ 多様な利用ができる地域の拠点づくり

事業内容

- ▶ 隣接する「将監市民センター」「将監児童センター」「将監老人憩の家」を複合施設として建て替えを行う
- ▶ 地域や施設利用者からの意見を聴取しながら検討作業を進める
- ▶ 複合施設との連携を図り、都市の魅力を向上させる公園運営に向けて、新たな公園の魅力づくりや、周辺環境と利用者ニーズに対応した多様な機能を持つ公園としてリニューアルを図る

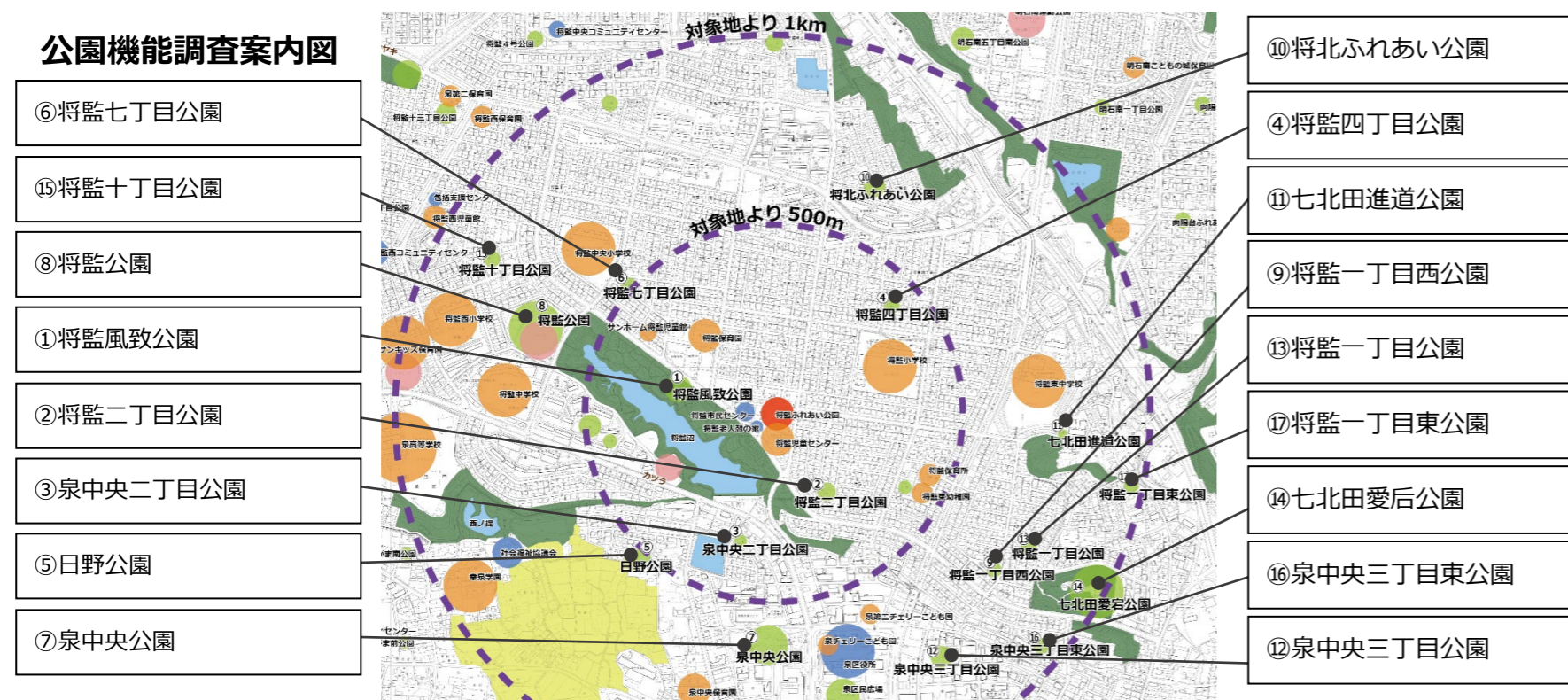
	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)
スケジュール			設計	
			複合施設と連携した基本的な方針の検討	

将監ふれあい公園リニューアル事業のスケジュール（出典：仙台市公園マネジメント方針事業展開プラン）

(2) 周辺都市公園の機能と公園の位置づけ

番号	公園名	種別	面積	将監ふれあい公園からの距離	機能					
					多目的広場	児童・幼児遊び	健康	スポーツ	風致・自然・景観	その他
0	将監ふれあい公園（現況）	近隣公園	1.04ha	0m	●（約 2,700 m ² ）※軽運動コート除く	●（児童・幼児）	●（健康遊具）	●（軽運動コート）		
1	将監風致公園	風致公園	8.52ha	150m					●（沼、桜並木）	
2	将監二丁目公園	街区公園	0.15ha	200m		●（主に児童）				
3	泉中央二丁目公園	街区公園	0.04ha	200m		●（主に幼児）				
4	将監四丁目公園	街区公園	0.20ha	400m	●（約 600 m ² ）	●（主に児童）				
5	日野公園	街区公園	0.09ha	470m		●（主に児童）				
6	将監七丁目公園	街区公園	0.17ha	490m		●（主に児童）				
7	泉中央公園	近隣公園	1.91ha	550m	●（約 3,300 m ² ）※築山広場部分	●（大型遊具等）			●（水景・樹林）	築山など
8	将監公園	近隣公園	2.09ha	610m		●（大型遊具等）		●（野球・テニス）		
9	将監一丁目西公園	街区公園	0.07ha	660m						ベンチのみ
10	将北ふれあい公園	街区公園	0.17ha	660m	●（約 900 m ² ）	●（主に児童）				
11	七北田新道公園	街区公園	0.02ha	740m		●（主に児童）				
12	泉中央三丁目公園	街区公園	0.40ha	730m	●（約 1,600 m ² ）※西側の広場のみ	●（複合遊具）				
13	将監一丁目公園	街区公園	0.17ha	740m		●（主に児童）				
14	七北田愛宕公園	街区公園	2.14ha	730m					●（神社・樹林）	
15	将監十丁目公園	街区公園	0.29ha	820m	●（約 1,300 m ² ）	●（主に児童）				
16	泉中央三丁目東公園	街区公園	0.02ha	970m		●（砂場）				
17	将監一丁目東公園	街区公園	0.08ha	990m		●（主に児童）				

公園機能調査案内図



凡例

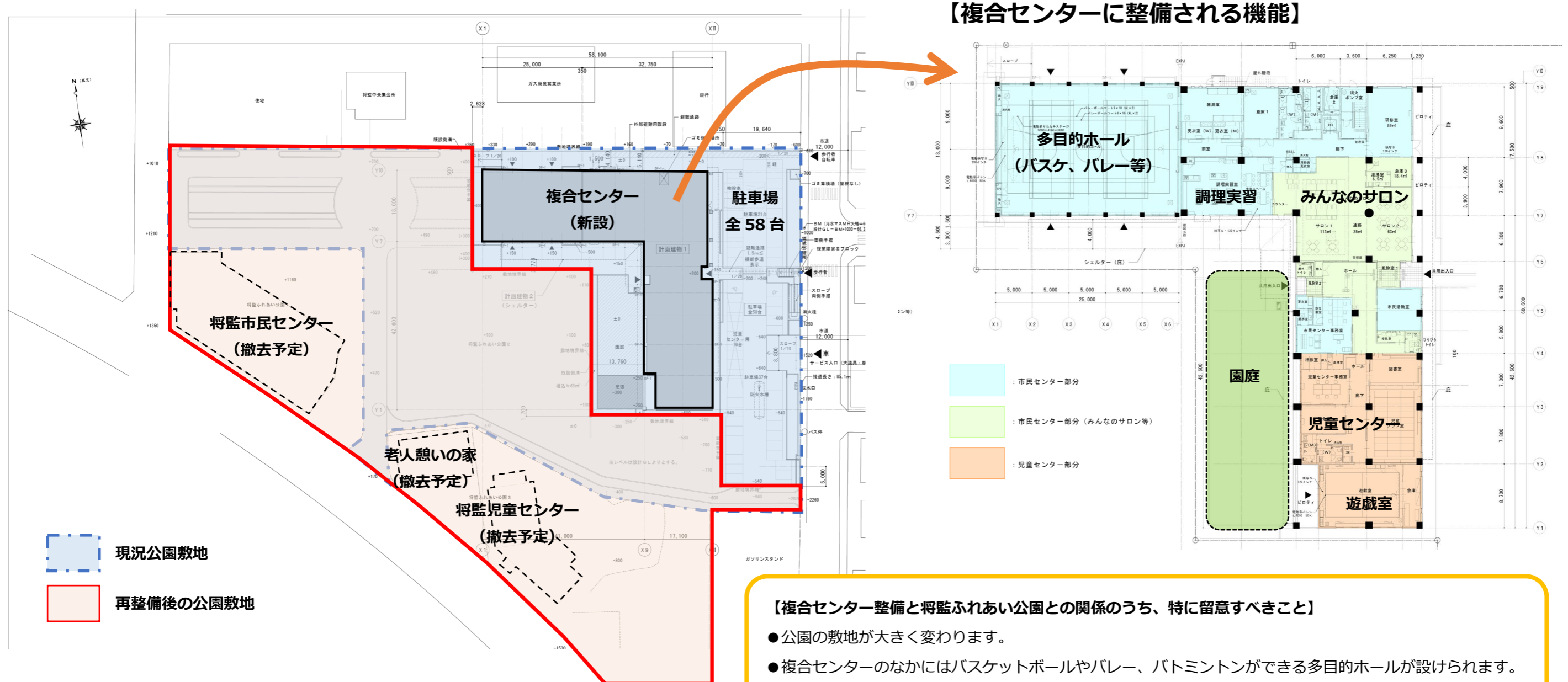
- 将監ふれあい公園
- 公園
- 教育施設
- 公共施設
- スポーツ施設
- 田畑
- 緑地
- 池・沼・調整池

【周辺の都市公園の機能からみた将監ふれあい公園の導入機能の留意点】

- ・将監ふれあい公園の周辺には面積の小さな公園が多く、幼児・児童が遊べる遊具等を備えた公園は身近に多数ある一方で、一定の広さを有する多目的広場などがある公園は多くありません。
- ・また、健康遊具やペタンク・ゲートボール等の軽運動ができる公園も周辺にはありません。
- ・一方で将監ふれあい公園にはない「風致・自然」や「(スポーツ(本格的な球技))」「大型遊具を使った遊び」などの機能については将監風致公園や将監公園、泉中央公園などで賄われ、エリア全体で機能の連携ができています。

(3)複合センターの整備計画

- 仙台市では将監地区にある市民センター（1991年築）、老人憩いの家（77年築）、児童センター（82年築）の老朽化対応として、3施設の機能を複合した「複合センター」の整備を進めています。
- 複合センターは現況の将監ふれあい公園の敷地内に整備され、これに伴い現況3施設は取り壊される予定です。



【複合センター整備と将監ふれあい公園との関係のうち、特に留意すべきこと】

- 公園の敷地が大きく変わります。
- 複合センターのなかにはバスケットボールやバレー、バトミントンができる多目的ホールが設けられます。
(多目的ホールの利用は予約制です)
- 児童センターの遊戯室にもバスケットボールのコートが設けられます。(こちらは予約不要です)
- 「みんなのサロン」は予約不要で市民が気軽に交流できるスペースです。地域が主体的にみんなのサロンを運営していくため、現在「みんなのサロン運営委員会」を立ち上げて運営方法等の検討を行っています。
(地域が公共施設の運営に関わるのは仙台市でも初めての事例)
- 児童センターの公園側には屋外の園庭が設けられます。
- 複合センターの利用者用に58台の駐車場が設けられます。

現状（仮称）将監みんなの複合センター内「（仮称）みんなのサロン」の実証実験は新型コロナウイルス感染症の為開催が難しく、現在は新年度（令和3年4月）以降の開催に向け、組織の整備（役割の明確化）、事務局、運営管理、広報、企画メニューの整備、財政面などの検討・準備・調整を進めている。

1. 「みんなのサロン」のコンセプト（基本的な観点・考え方）

- * 全世代が気兼ねなく立ち寄り、地域全体の連帯や親睦に寄与できる活動。
 - * 予約なしでも自由に地域住民が利用できる空間で、市民センターとは違う使い方が出来る。
- 日常のイメージとしては、
- ・ 定期的な事業やイベントを行っていてもサロンの一部では市民センターの利用者が食事や、おしゃべりをしている。サロンでやっているコーヒー等の注文も可能。
 - ・ 野外のテラスでは、早朝のラジオ体操の前後から自販機販売のコーヒーを飲みながら懇談が出来る。
 - ・ イベントや行事を開催することで、地域の皆さんの交流の機会を増やす。

2. 「みんなのサロン」運営委員会の活動範囲

複合施設内の「みんなのサロン」の部分と野外のテラス（庇）の部分とする。

3. 「みんなのサロン」運営委員会の役割

(1) 「みんなのサロン」のスケジュール管理

年間行事：仮称「みんなのサロンまつり」等

月間行事：サロンコンサート（1回）地域の方、市民センター利用団体、行政相談（1回）・専門職（地域の病院・介護施設の方等）による相談会等

週間行事：「資料3-2：サロン運営（モデルケース）」ご参照

(2) 事業やイベントの受付・割り振り・広報調整

- ・ 各種媒体を通じての広報
- ・ サロンコンサートや、各種サロン開催参加希望者の募集と調整（随時応募受付も可能）

・ 備品として特に必要なもの

- * 電話機（携帯）＝予約・問い合わせ等の対応用
～もしくは、電話料金を負担する
- * 事業予定表ボード（みんなのサロン予定表として仙台市に購入要望中）。スケジュール調整を行い、各種催し物をボードに記入

(3) 飲食を伴う事業（喫茶店・カフェなど）

- ・ 福祉事業所「かやの実工房」によるパンの出張販売（定期）
- ・ 地域のお店からの出張販売（お弁当・サロン内への出前）
- ・ 地域団体・個人・運営委員会等
- ・ 時間帯：10:00～16:30を想定
- ・ 喫食開催日：毎日やるのか、週に数日やるのか要検討
- ・ 割り振り：サロン運営委員会・地区社協共催1～2回
各町内会（希望者）第何週 何曜日
各種団体（例：中国茶のサロン・ママ友サロン
居場所企画委員会等）
個人（個人で提供したいと思っている方）

* 飲食を伴うことで懸念される衛生管理は、サロン運営委員会としての開催でクリア出来るのか。

* サロン内でのお菓子等の販売による提供は、会員制度にしての対応。

(4) 施設の運営・管理

* 施設のオープンまで

「（仮称）みんなのサロン運営委員会」を以下3部門に分けて、開催準備を含めたサロン運営・実験実証等に取り組む。

1. 運営管理部門…事務局
2. 出店参加者部門…核となってサロンを開催する方々
3. 子供担当部門…子供・学校関係など

但し、サロン運営委員会で開く「みんなのサロン」喫茶やカフェの活動は全体で取り組む。

* 施設のオープン後

- ・ 利用者が汚した場所の清掃
- ・ テーブルのふき掃除（屋内）／テラス及び周辺の簡単な清掃（屋外）
- * 有償ボランティアの募集～時給 ⑧50

* 施設に設置するもの（屋内／屋外）

- ・ テーブル・イス・自動販売機（100円コーヒー用、缶・瓶・ペットボトル）

4. 今後の検討事項

(1) 複合施設の下部組織の整理

- ・ 「（仮称）みんなのサロン運営委員会」と「ふれあい公園再整備・利活用委員会」の関係性について
- ・ （仮称）将監みんなの複合センター完成後の組織体制について
⇒引き続き連携を図っていく

(2) 経費（人件費・通信費・広報費・当面の準備金等）充当資金の捻出

- 仙台市に負担をお願いするもの
 - ・ 光熱水道代（電気・ガス・水道）、施設の維持管理に関する経費
- 「みんなのサロン」（「ふれあい公園」関係分も含む）等で捻出予定のもの
 - ・ 「サロン運営委員会」で運営するサロンの喫茶料金
 - ・ 自動販売機の売り上げの一部
 - ・ 朝市、マルシェの場所代（開催場所は公園を想定）
- 国・県・市からの助成金（例）等
 - ・ 国、県の助成金（将監全体のまちづくり等に関する助成～）
 - ・ 仙台市の助成金
- 企業等の協力金及び寄付金
- 会員制にして年会費
- その他～子ども食堂などに食材の提供

5. 今後のスケジュール

- (1) 令和3年3月末までに組織の確立と、開催方法の検討と広報活動の充実を図る。
- (2) 令和3年4月以降、「みんなのサロン」実施予定で「実証実験」の開催の準備を行う。
* コロナで「みんなのサロン」が使えない場合は、第1・2研修室及び調理実習室を利用しての開催に向けて準備していく。
（現在、「ほっとサロン将監」は調理室でお茶のみで開いている）
- (3) 令和4年4月以降のオープンに向けての準備。
- (4) 「みんなのサロン」のネーミングの募集実施予定。